

有田工業高校の特徴や誇れるもの

- ・有田工業高校は今年で開校124年目となる伝統校です。
- ・定時制課程は昭和39年に設置され、令和6年に創立60周年を迎えました。卒業生は1,324人（令和6年3月時点）です。また、社会人を対象とした聴講生制度を有し、意欲ある社会人の方々の学びの場ともなっています。
- ・本校が立地する有田町は、古くからやきものの町として世界的に有名で、毎年5月に行われる『有田陶器市』には、100万人を超える観光客が訪れます。

地域奉仕活動

- ・5月の有田陶器市後に、日頃お世話になっている地域への感謝の気持ちを込め、学校近辺の清掃活動を行っています。



開校記念行事

- ・5月に開校記念行事として講演会を実施しています。今年は、佐賀県窯業技術センター窯業人材課課長の松尾英之氏を招き、「有田焼ができるまで～陶石から製品まで～」という内容で講演いただきました。



聴講生制度

- ・地域産業技術者の技術向上のため、窯業コースはろくろ成形の技術習得、デザインコースは最先端の知識・技能の習得を目指しています。身につけた技術で地域産業の発展に貢献しています。



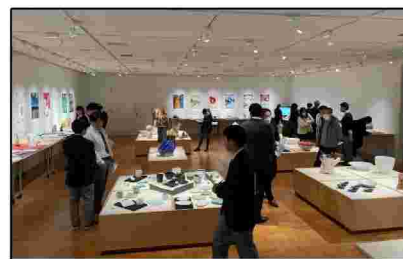
学校所在地 : 西松浦郡有田町桑古場乙2902番地
連絡先 : 0955-42-3136
生徒数 : 39名

アーティストミヤザキケンスケ氏との合同制作

- ・定時制創立60周年記念行事で実施されたミヤザキケンスケ氏との合同制作に定時制全体で取り組みました。ミヤザキケンスケ氏は、佐賀市出身のアーティストで、SAGAサンライズパークの照明塔にアートペイントを施されるなど国内外で活躍されています。本校生徒との交流により、今回の企画が実現しました。縦0.9メートル、横5.4メートルに校舎や地域の名所などを色鮮やかな色使いで描きました。



学校の誇れるものの紹介



卒業制作展



課題研究発表会